



北中だより

教育目標 創造 連帯 健康

第 12 号

令和3年 3月 1日

北中学校長 須藤 泰章

有終の美を飾ろう

光陰矢のごとしの言葉どおり、令和2年度も残すところ1ヶ月となりました。3月は、「最後の締めくくりをしっかりと行い、悔いを残さないように過ごす」、つまり『有終の美を飾る』時です。今年度は臨時休校で始まり、行事は変更ばかりでした。授業も7時間目を特設したりと大変な一年でしたが、生徒の皆さんの頑張りで乗り越えられました。この3月もみんなで協力して有意義なものとし、来年度へと繋げていきましょう。



3年生には、将来の目標なども見据えながら、義務教育を終えるこの時期を大切に過ごしてほしいと思います。1・2年生には、学年が1つ上がり責任が増すことへの自覚をしっかりと持ってもらえたらと思います。

保護者や地域の皆様には、学校運営へのご理解とご協力、大変ありがとうございました。今後も引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

コロナ禍の中でも頑張っています

今年度は、コロナに始まりコロナに終わる一年でした。そんな中でも、生徒たちは元気に学校生活を送っています。制約の多い中ですが、生徒たちは本当によく頑張っています。そんな学校生活の様子を、ほんの一部ですが写真で紹介させていただきます。



本校の柱である
「学び合い支え合う授業」



放課後学習の
「あすなろタイム」



「あいさつ運動」
6月から続けています



無言清掃
膝をついて雑巾がけ



「あいさつ・返事・そろえる」
部活動で大切にしています



テニス部員による
コート整備

中学生地区活動ボランティア（中ボラ）

生涯学習課の行事に中学生地区活動ボランティア（中ボラ）があります。中学生がボランティア活動をとおして地域との連帯意識を育むことや思いやりの心と自ら考えて行動する力を培うことなどを目的に、20年近く続いている事業です。

今年度は多くの行事が中止になってしまいましたが、例年、「少年の砦」活動・各町内のお祭り・成人式等のお手伝いやボランティアスクールへの参加などの活動をしてきました。生徒たちにとって、学校で学べない貴重な学習の場になっています。来年度、今の状況が改善し、多くの生徒の皆さんがボランティアに参加し、多くのことを体験しながら学んでほしいと思います。今年度の活動に参加した生徒の感想を紹介します。

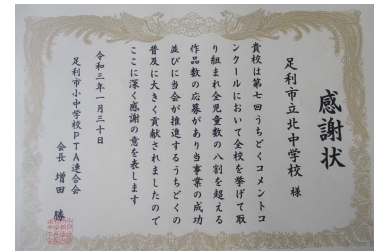
私は昨年11月、生涯学習センターで開催された「ボランティア研修会」に参加し、ボランティアの意義や人と関わる上で大切なことなど、たくさんのことを学ぶことができました。また、実際に他校や他学年の人たちとレクリエーションをすることを通して、協力することの楽しさやその重要性を改めて感じることができました。

3年3組 ○△ ☆★

うちどくコメントコンクール 学校賞

12月号で紹介させていただいた足P連主催の「うちどくコメントコンクール」ですが、今年も学校賞の表彰を受けました。これは多くの作品を出品できたことに対する受賞ですので、文字どおり生徒と保護者の皆様のご協力の賜です。

生徒の皆さんには、今後も朝読書はもちろん、時間をつくって進んで読書に取り組んでほしいと思います。保護者の皆様方には、お子さんが読んだ本について話題にさせていただくなど、これからも継続していただけたらと思います。



ホームページ更新

ICT支援員のO△先生のご協力により、北中学校ホームページの更新をすることができました。これまでのホームページはパソコン画面用に作られており、スマホで閲覧するには不向きでした。新ホームページはパソコン・スマホ両方に対応していますので、大変便利になったと思います。保護者や地域の皆様にはこの機会に是非、ご覧いただけたらと思います。



学 校 公 開

3月18日（木）・19日（金）の2日間、学校公開を実施します。
授業参観の予定でしたが、密を避けるため学校公開に変更します。
公開時間や科目などの詳細は後日お知らせいたします。